

岐阜県高山市	●活動名	●関係する学校名
	東山校区つながりの会	高山市立東山中学校 高山市立東小学校 高山市立岩滝小学校

協働活動開始年度	平成 27 年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和2年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	3人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有	
参考URL	https://daihachi.page/					



●連絡先	高山市教育委員会学校教育課 協働推進課	☎ 0577-32-3333
------	---------------------	----------------

●活動の概要・経緯
2つの小学校の卒業生全員が同じ中学校へ進学するつながりから、小中連携しての授業研究会、道徳公開等を実施してきており、平成27年からはまちづくり協議会とも連携し、行事日程の調整(カレンダー)、地域講師・人材の登録、情報交流を行ったのがはじまり。翌年からは3校がそれぞれに実施していた事業を、合同企画運営による防災訓練、家庭教育研修会へと発展統合。以降、まちづくり協議会と学校による地域ふれあい祭り、合同運動会、また放課後児童クラブ支援、子ども食堂などボランティアを拡充しながら多岐に展開。推進員が学校と地域のパイプ役となり、夏休みの寺子屋学習会、地域人材・体験を生かした総合的な学習、郷土の未来を語る会等、協働体制が整備されている。そこでは児童生徒の学びの保障だけでなく、地域の力と知恵を総動員し、地域課題「共生」を大人も一緒に考える「学びの場」を創出している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

H28より大八まちづくり協議会が「寺子屋in大八」と称し、東小学校5、6年を対象に夏休みの学習支援、科学実験教室を、H29には放課後児童クラブ高学年を対象とした学習支援を始めた。H30からは地域講師による体験活動を中心としたプログラムを実施し、さらに中学生を対象とした地元産業の木工体験をメニューに入れることで、東山中学校の総合的な学習「郷土の未来を考える」の先行体験として一部希望者ではあるが系統的な学びが位置づいた。この取組は空町、岩滝まちづくり協議会にも広がり、車いすバスケットの選手を招いての体験学習や公民館での継続的な学習支援等、推進員がコーディネートをして多くの地域住民が関わり児童生徒の学びを充実させている。

【実施に当たっての工夫】

事業内容が子どものニーズに合致しているか等の吟味を重ね、従来の計算・書き取り等の学習補充の面と、地域課題や地域教材、講師を生かした体験活動の両面が必要であるという認識を共有している。中学校での地域課題解決学習につながるように、小学校児童対象には「ふるさとを知る」ための多様な体験活動(田植え・ツリーイング等)を実施している。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会を核にして3つのまちづくり協議会と学校が連携し、学校関係者と推進員が企画運営の中心となり、推進員が地域住民をコーディネートしている。また地元のネットワークを生かした「ものづくりワークショップ」等は地域の活性化にもつながっている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

まちづくり協議会と学校が話し合いを重ね、それぞれの目的意識や強み、ニーズが明らかになり、理解が深まった。教育課程外の地域行事や夏休み中・放課後の子ども支援からスタートし、現在では総合的な学習等の授業にも協働参画している。事業が話し合いによって年々修正され、無理のない継続的な活動になっていることやその目的や方法が共有され、主催者側だけでなく、参加者や保護者、地域の方々にも周知されてきていることで、地域や学校になくてはならない活動になっているといえる。中学校生徒の質問調査「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている」は53%であり、全国平均を大きく上回る。

●その他

令和2年度「郷土の未来を語る会」は、東山中学校を中心に地域内の公民館5か所とオンラインでつなぎ、3密対策を施すと同時に、地域住民の参加を促す試みがされる予定。



郷土の祭礼での獅子舞とお囃子を披露する中学生



高齢者を教わって紙飛行機の折り